

納税は納め忘れのない 口座振替のご利用を

市・県民税(普通徴収)、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税は、口座振替を利用して納付すると納め忘れがなく、便利です。ぜひご利用ください。

手続き方法

納税通知書のほか、通帳と届け出印をお持ちの上、次の金融機関で手続きをしてください。
金融機関▶岩手ふるさと農協、岩手江刺農協、岩手銀行、東北銀行、北日本銀行、東北労働金庫、水沢信用金庫、ゆうちょ銀行

■問い合わせ＝本庁納税課収納係(内線342)

ご注意ください

- 口座振替日は、各税目の納期限日
- 手続きは各税目の納期限日の1カ月前まで
- 納期限が過ぎた(滞納)分などは、振り替え不可
- 軽自動車税は振替日から約2週間後に「軽自動車税納税証明書(継続検査用)」を送付
- 軽自動車税以外の口座振替済通知書は、翌年の1月に送付



本庁 納税課 収納係
小野寺 晶子 主事

軽自動車税は4月1日が基準日です



軽自動車税は、その年の4月1日を基準日として、バイクや軽自動車などを所有している人に課税します。申告などをしなかった場合は、過料を科すことがあります。新規登録や所有者・住所などの変更の場合は15日以内、廃車の場合は30日以内に手続きしてください。

■問い合わせ＝本庁税務課諸税係(内線338)

種 別	届け出窓口
原動機付自転車 (125cc以下のバイクなど) 小型特殊自動車 (農耕用で乗用装置があるものを含む)	本庁税務課 本庁市民課 各総合支所市民環境課
軽自動車2輪 (125cc超～250cc以下) 軽自動車4輪	県軽自動車協会(☎019-639-8021) 県自家用自動車協会水沢支部(☎☎3168)
2輪の小型自動車 (250cc超)	東北運輸局岩手運輸支局(☎050-5540-2010) 県自家用自動車協会水沢支部(☎☎3168)

固定資産税に関する縦覧や閲覧

■問い合わせ＝本庁税務課土地係、家屋係(内線352、355)

項 目	縦 覧	閲 覧
期 間	4月1日(日)～4月30日(日) ※土日祝を除く	通 年 ※土日祝と年末年始を除く
時 間	午前8時半～午後5時15分	
場 所	本庁税務課	本庁税務課・各総合支所市民環境課
対 象	土地価格等縦覧帳簿・家屋価格等縦覧帳簿	固定資産課税台帳(名寄帳)
縦覧・閲覧ができる人	①固定資産税の納税義務者 ②上記①の代理人 ③納税管理人	①固定資産税の納税義務者 ②借地人、借家人 ③固定資産を処分する権利がある人 ④上記①～③の代理人 ⑤納税管理人
必要なもの	○印鑑と本人確認ができるもの(免許証など) ○代理人はそれを証明する書面(委任状など) ○納税者であることが確認できるもの(前年度の納税通知書、課税明細書)	○印鑑と本人確認ができるもの(免許証など) ○代理人はそれを証明する書面(委任状など) ○借地・借家人は賃貸借契約書または賃借料の領収書など ○固定資産を処分する権利がある人は、それを証明する書面
手数料	無料	有料 ※縦覧の期間は無料



万歳三唱で長寿を喜ぶ千代子さん

市は、2月に満百歳を迎えた4人に記念品を贈り、長寿を祝いました。
遠藤千代子さんⅡ胆沢区小山字菅谷地Ⅱは神奈川県に生まれ、20歳のとき水沢出身の故・愛吉さんと結婚。終戦後、胆沢に移り住み、小山地区の開拓に汗を流しました。その後養子に治さんを迎え、孫1人、ひ孫2人に恵まれました。息子夫婦と共に農業に励み、米を背負って水沢まで売りに行くなど懸命に働いた千代子さんですが、苦労は「忘れた」と朗らかに笑います。現在は、

週2回のデイサービスを楽しみにしながら、自宅でのんびり過ごす毎日。百歳の喜びを「バンザーイー」の元気な声と満面の笑顔で表しました。
及川サトさんⅡ水沢区上姉体二丁目Ⅱは同区に生まれ17歳で故・壽助さんと結婚。1男5女をもうけ、農業で生計を立てました。現在は孫12人、ひ孫15人に恵まれています。戦争で壽助さんを亡くし、その後13年に死別。以降、女手一つで6人の子どもを立派に育て上げました。ゲート



長男・和夫さん夫婦の間で、笑顔のサトさん

ボール好きで85歳ぐらいまで元気にプレーしていたサトさん。酒やたばこはもちろん、甘いものもあまり口にせず「贅沢をしないことが大切」と長寿の秘訣を話してくれました。
阿部サトミさんⅡ胆沢区若柳字大歩Ⅱは同区小山に生まれ、18歳ごろ故・彌治右衛門さんと結婚。2男1女をもうけ、孫は8人、多くのひ孫にも恵まれ、間もなくやしゃごも誕生する予定だそうです。戦時中に彌治右衛門さんが出征先で戦死するなどの苦難を乗り越え、家事を懸命にこなししました。足腰も丈夫で杖を使わずに歩き、「行きたい所にはどこまでも行ける」と言っているサトミさん。百歳のお祝いに桃色のちゃんちゃんこと帽子を身に付け、照れ笑いを見せていました。
高橋よしこさんⅡ衣川区噌味Ⅱは宮城県栗原市に生まれ、尋常小学校卒業後、鉾山で働いていました。そこで故・森之進さんと出会い、20代で結婚。4男2女をもうけ、孫13人、ひ孫14人、2人のやしやごにも恵まれています。



大好きなケーキとフルーツに大喜びのよしこさん

終戦後、森之進さんの故郷・衣川区に移り住み、田畑の仕事に精を出してきたよしこさん。手先が器用で掃除や草取り、裁縫など、80歳を超えるまで元気にこなしていたそうです。孫の義昭さん(47)は「健康管理に気を遣い、3食は欠かしません」と長寿の秘訣を語っていました。



家族の祝福に笑顔のサトミさん

掛川だより

姉妹都市

市民 160 人の鎮魂歌を被災地へ

管弦楽団が初来日！レクイエムコンサート

追悼の気持ちを込めて練習に打ち込む市民合唱団

東日本大震災復興支援コンサート「バチカンより日本へ 祈りのレクイエム日本公演 2015」が3月14日、掛川市生涯学習センターで開催されます。

バチカンの聖パオロ大聖堂でレクイエムコンサートを行ったイタリア三大オペラフェスティバル専属オーケストラ「ロッシーニ歌劇場管弦楽団」が初来日。震災の犠牲となった人たちへの鎮魂と、1日も早い復興への希望を届けてくれます。当日は、バチカンから枢機卿(最高顧問)も来日し、祈りを捧げます。

同コンサートでは、160人もの市民合唱団と共演が予定され、出演する市民は、昨年4月から練習に取り組んできました。世界トップクラスの演奏に乗せ、被災地への思いを込めてモーツァルトの「レクイエム」を歌い上げます。